

株式会社 岩の原葡萄園

(新潟県上越市)

～ 農福連携で作業効率がアップ～



岩の原ワイン造り



剪定したぶどうの枝を拾い集める作業の様子



拾い集めたぶどうの枝

経緯

- 上越市の支援事業（農福連携障害者就労支援モデル事業）を活用して平成28年から農福連携に取り組む。
- 障がい者の丁寧な作業を見て当初の不安が払拭されるとともに、障がい者の就労機会の拡大・農業分野における障がい者の就労に対する理解が深まり、「社会貢献ができるのであれば」との思いで、市の支援事業が終了した後も継続している。

取組

- これまでは、剪定したぶどうの枝の片付け作業を従業員が行っていたが、障がい者に作業を委託することで、ぶどう畑における作業効率が上がった。
- 作業を終えた障がい者が福祉事業所に戻ると「表情が明るくなった」との声が届いており、リハビリ効果を感じている。
- 農福連携で大切なことは「あいさつ・声がけ」。障がい者と距離を置かず、「これだけ頑張ってくれてありがとう。」と声を掛けることで信頼関係も生まれ、次の作業がスムーズになった。
- 特別支援学校の卒業生1名をフルタイムで採用しており、その従業員はトラクターでの作業もこなしている。



今後の展望と課題

- ぶどうを育てるには様々な技術・作業が必要だが、一連の作業を切り分けると単純作業が多い。障がい者の更なる活躍を進めたい。
- 今後は、ぶどうの収穫作業における連携も考えている。収穫に携わることで障がい者にとっての更なる喜び・リハビリ効果を期待したい。